

歌えない時の賛美 ～つどえ無い時のつどい～

2021 年度埼玉地区教会音楽講習会特別編

教会音楽オンラインサロン 開催報告

地区委員 大熊眞弓（東京聖書学校吉川教会）



日時：2021年6月19日（土）午後2時～4時

参加者：31人 地区内12教会 地区外2

特別ゲスト：高浪晋一先生

（日本賛美歌学会前会長 日本聖書神学校「教会音楽クラス」講師）

インターネットのアプリ Zoom（ズーム）を活用してオンライン集会を開催しました。

多くの方に参加いただき、感謝です。以下にサロン内で出された内容等をお知らせします。

1、コロナ下の礼拝で三密を避けるために各教会で工夫していること

1) 賛美

- 声を出して賛美しない。奏楽（オルガン、ピアノ、ヒンプレイヤー等）の演奏を聴き、心の中で一節のみ歌うという教会
- 一節のみを小声で賛美する教会
- 節数を少なくしている教会
- 賛美の前奏は、1節分すべてを前奏として弾く、最後の2または4小節を弾く、初めと終わりの部分をつなげて弾く、会衆がなれていない賛美歌は、ユニゾンで弾く等、いろんな教会がありました。

（高波先生からのアドバイス：曲を知らない方への配慮、歌う準備のための時間を確保する、などの目的で1節分すべてを弾くことを勧められました。）

2) 直接集まらない礼拝

- 礼拝のインターネット配信：YouTube（ユーチューブ）以下 YouTube の同時配信、録画配信、フェイスブックの配信
- 礼拝説教のみを HP に掲載という教会
- 集まる礼拝と配信を同時に行っている教会
- インターネット配信の場合の著作権の問題（教団出版局の HP の 2021 年 9 月末まで、無料で使えるリストも掲載あり）

3) 参加人数を減らす（1度に参加する人数を少なくするために）

- 2グループに分けて、2週に一度教会での礼拝を守る
- 2部制にして、9：30～と10：45～の2回礼拝に変更

2、高波先生の言葉より

1) 会衆が緊張しないということも大事なこと

後半の質疑応答の中で、「会衆が緊張しないということも大事なこと、会衆が神様に向かって賛美するために、無用な緊張は不要であり、不要な緊張がなく声を出すことが出

来れば、そのことが霊的に満たされた賛美につながっていくから」という趣旨を高波先生が語られました。私は、奏楽者ではありません。奏楽担当の方がそこまで配慮して、礼拝を支えて下さっていることをあらためて知ることができ感謝でした。

2) 歌えない時に出来ること



高波先生が昨年7月から、YouTube動画を始められました。それまで全くPCにも無縁な生活をしていましたが、聖歌隊のご指導を長年されてきて、コロナ下で歌いたいのに歌えないという声を聞き、何か出来ることはないかと考えた末に思いついたのが、これだったそうです。

高波先生のYouTube動画もいつくか拝聴し、ご自宅からの参加者はそれに併せて歌うということをしました。

3、Zoomの講習会の可能性

今までの講座に参加いただいていたお顔を存じ上げていたが、お声を今回初めて聞いた方が沢山いました。

大人数の参加の際は、一人一人のお声をお聞きすることはできませんが、Zoomで今回くらいの参加者で有れば、参加者全員のお顔を見てお声を聞くことができました。

また、ご自宅やいつもの教会からの参加だからでしょうか、質問がしやすく、いろんなお話を聞くことが出来ました。

4、まとめ

高波先生を交えたサロンでは、いろんな教会の工夫をお聞きすることができ有意義なひとときを過ごすことが出来ました。

初めてZoomを使つてのサロン開催に、委員会は、沢山準備(打ち合わせを重ね、事前Zoomお試し会、アンケート作成等々)しました。神様がそれに応えてくださり、PC画面で一度に見られる数の参加者を与えてくださいました。インターネット環境も支えてくださり、高波先生をはじめ皆様に支えられ、多くの参加者が発言をして時間通りに終了することが出来ました。至らぬ点も合ったかと思いますが、委員会として最善を尽くせましたこと、感謝です。

インターネットの環境を整えられない方を置き去りにしているという課題も抱えての企画でありますが、新型コロナウイルス感染症拡大という状況下で、直接つどえない時のつどいのあり方として、Zoomの可能性を更に追求して行けたらと思います。